

会議名	第3回港区観光ボランティアガイド育成支援業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和6年3月28日(木曜日)午後3時00分から午後4時30分まで
開催場所	札の辻スクエア8階 活動室
委員	〈出席者〉5名 上村委員長、宮内副委員長、荒川委員、中村(美生)委員、中村(ゆかり)委員 〈欠席者〉なし
事務局	産業振興課 観光政策担当係長 産業振興課 観光政策担当
会議次第	1 開会 2 第二次審査実施概要について 3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施 (1) B事業者 (30分) 4 第二次審査結果及び事業候補者の選定について 5 その他 6 閉会
配付資料	(配布資料) 資料1 第二次審査実施概要 資料2 第二次審査採点基準表(1事業者分) 資料3 第二次審査における質問事項趣旨 資料4 第一次審査・第二次審査集計結果(※採点終了後、机上配布) 参考資料1 第一次審査集計結果 参考資料2 事業候補者選考基準 参考資料3 仕様書(案)
会議の結果及び主要な発言	
事務局 A委員	【1 開会】 (開会の挨拶) (事務局より配布資料の確認) 【2 第二次審査実施概要について】 (事務局より資料1、資料2及び資料3について説明) 【3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施】 (1) B事業者 (30分) 質問をお願いします。 提案内容として3点挙げている観光ボランティアガイドが担う役割

	<p>について、講座内容のこういった部分で伝えていくのか、またその際に工夫すること等あれば教えてください。</p>
B 事業者	<p>最初のオリエンテーションも含めて、各回全体にわたって、3点挙げた基本方針に基づいて内容をお伝えしていきます。中でも7回目の「港区観光ボランティアの会」にもご協力いただく想定で講座では、会の紹介や設立目的、活動趣旨等をご説明いただき、役割についても受講生にしっかりと伝わるよう配慮させていただきます。</p>
B 委員	<p>貴社の独自性が発揮される内容について、ボランティアガイドの方との調整意見を取り入れる創意工夫として、意見交換の実施がありますが、どのように実施するのか具体的に教えてください。</p>
B 事業者	<p>講座を行うに当たり、開始前に何度か打合せを設定し、ボランティアガイドの方の思いを講座に反映できるようなすり合わせや考えの共有をしっかりと行っていきたくと思っています。</p>
B 委員	<p>スキルアップ講座でスリバチ学会の方と港区の地形を見て歩く講座がありますが、ご自身のガイド活動にどのように活かせるのかを含め、この講座の設定理由や目標等を教えてください。</p>
B 事業者	<p>個人的にスリバチ学会の方の本等も読む中で、ボランティアガイドの皆様におすすめだと思い、過去にも同様の講座を開催しましたが、参加されている方は地理や地形にとっても興味を持たれている方も多い状況です。地形等の情報収集はなかなか講師の方がいないと難しい部分もあり、ボランティアガイドの活動とも親和性が高いと思い、設定しました。</p>
C 委員	<p>本日はらっしゃっている方の立場をご紹介をお願いします。</p>
B 事業者	<p>業務責任者1名と、業務担当者2名です。</p>
C 委員	<p>バリアフリーの観光案内や外国人対応について提案をいただいておりますが、とてもいいことだと思っていますが、具体的にどのようなことをするのか、詳しく教えてください。</p>
B 事業者	<p>バリアフリー対応については、具体的にスロープやエレベーター等を使った車椅子の方が回りやすいまち歩きコースの設定や、車椅子の押し方等の基本的な部分を講座内に入れようと思っています。他にも視覚障害をお持ちの方のフォローの仕方等、安全安心に参加いただけるような内容を盛り込みたいと思います。</p> <p>また外国人対応については、これから増えていく外国人対応の基礎や受入れ態勢等について、海外の動向や戦略を研究している部門と連携をしながら、ボランティアガイドの皆様に説明するような回を考えています。</p>
C 委員	<p>インクルーシブがすごく大事だと言われており、誰一人取り残さないという事が必要になってくるため、ぜひよろしくをお願いします。</p>

B事業者	ありがとうございます。
C委員	これまでの講座と変わっている部分について教えてください。
B事業者	育成講座を再開するという部分です。新しいボランティア活動の機会を提供できなかったコロナ禍を経て、ガイドとしての活動に関心をいただいている方々に基礎的な内容をしっかりとお伝えしていきます。また社会との繋がりや、ガイド活動を通じて自分の居場所を再認識いただくという事を意識した講座運営を行っていきたくて思っており、リアル開催の講座も通じて、コロナ禍で出来なかったことをしていきたいと思えます。
C委員	また港区に来てみたいというリピーターを増やすための工夫はありますか。
B事業者	ボランティアガイドさん個人のキャラクターや個性を感じ取っていただき、「またこの方の話を聞きたい」「違うコースも案内してほしい」というような出会いが、リピーターに繋がるのではないかと思います。ガイドさん一人ひとりの個性やその方らしい案内をするためには、まずは基礎の積み重ねが必要であるため、様々な情報について講座を通じて伝えていくことが大事だと思っています。 【4 第二次審査結果及び事業候補者の選定について】 (事務局より資料4について説明)
委員長	事務局から採点結果の説明がありました。各委員、講評をお願いします。
D委員	全体的な雰囲気として、少し元気がなかったような印象がありましたが、他自治体等でも観光人材育成の実績があり、経験値がある部分での安心感は非常に高いと感じました。また質問の回答からも、ぜひ事業者として実施したいという意欲を感じられました。質問に対する答えがやや薄い部分は気になりましたが、全体的に安心感が非常に高いことから、評価を高くしています。
C委員	熱意が感じられないところや、新しい取組をする視点が欠けていたところがあつたため、取組意欲については低めに評価しています。一方で、社会状況を押さえたバリアフリー対応や外国人対応等の多様性を意識したプログラム構成については、評価できると思いました。また、観光ボランティアガイドの方々のやりがいや生きがいを醸成したいという視点もあり、長期的に活動継続できるガイドを育成するという意欲や姿勢も感じられた所は高く評価しています。
A委員	元気がない印象であったこと、説明者と質問回答者が異なっていたことから、実務が担当者にお任せになるのではないかと気になりました。ただ業務趣旨はよく理解しているのと、これまでの業務経験を活かした創意工夫を取り入れた講座運営を通じて、これから観光

B 委員	<p>ボランティアガイドになる方に向けて様々なことを教えることができるのではないかと期待できました。受講生からの質問についても、しっかりと回答できると思い、評価しています。一方、回答内容がやや物足りなかったことやフォローが必要だったこと等から、理解・回答力や取組意欲は少し下げた形で評価しました。</p> <p>質問の回答が長かったため、もう少し簡潔に答えていただくとよかったですと思います。旅行業者である事業者のバックボーンを活かした講座運営を通じて、応募をしてくれたこれから観光ボランティアガイドになる方々に対して、リピーター観光客を増やせるような質の高いガイド育成も期待できるのではないかと思います。今までの実績や人を通じてその地域を知るという回答内容からも、観光ボランティアガイドの育成を安心して任せられるかなと感じました。</p>
E 委員	<p>他の委員同様に、元気がない印象や意欲を感じない印象は受けましたが、業務内容自体は、提案内容の実現性もしっかりと見込めると感じました。新たな取組に関する意欲は少し足りない印象も受けましたが、全体的には概ね任せて問題のない事業者だと思います。</p>
委員長	<p>意見交換を踏まえ、自身の採点について振り返る時間を設けます。変更の有無に関わらず、事務局の方で回収します。</p> <p>(委員採点の振り返り・採点の再集計)</p> <p>(事務局による再集計結果の発表)</p>
委員長	<p>審査結果や各委員からの意見から総括し、当委員会としては、B事業者を事業候補者として選定することとしますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(委員一同、異議なし)</p>
委員長	<p>それでは、B事業者を事業候補者として選定します。事務局から事業者名を発表してください。</p> <p>(事務局から事業者名の発表)</p> <p>【5 その他】 (事務局より事務連絡)</p> <p>【6 閉会】 (閉会の挨拶)</p>